



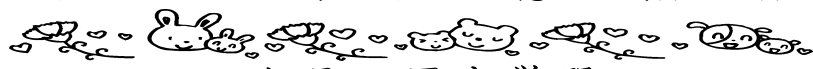
5月

令和8年5月1日

ちびっこの森通信 vol.257

☆☆今月のテーマ☆☆

- ・ 戸外遊びから草花や昆虫と触れ合い、季節を感じる。
- ・ 「母の日」を通して、お母さんに感謝の気持ちを持つ。

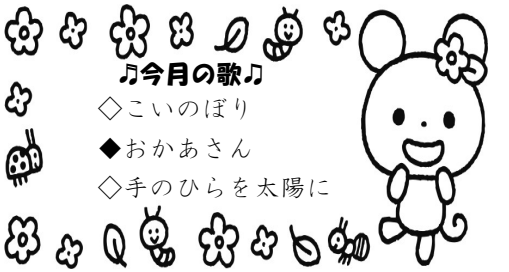


～今月の園内学習～

- ・ 足し算…2の段
- ・ 掛け算…2の段
- ・ 数字カード…1～20の数字
- ・ 食べ物カード…今月の旬な食べ物
- ・ 漢字カード…小学校1学年で習う漢字30
- ・ 魚へんの漢字…「こい」「ぼら」
- ・ 木へんの漢字…「かしわ」「つが」
- ・ 歴史カード…「千利休」ほか
- ・ ひらがなカード…「か行」
- ・ 国旗カード…ガーナほか
- ・ アフリカ地方各国
- ・ 地理カード…沖縄県ほか九州地方
- ・ 声に出して読みたい日本語…論語ほか
- ・ 英会話…動物、曜日、季節の種類
- ・ 絵画カード…「夜警」他

～行事予定～

- ・ 書道教室(年長)…7日、21日
- ・ 身体測定…8日〔年中・年長〕18日〔年少〕
- ・ 避難訓練…13日
- ・ 体操教室…14日〔年少〕22日〔年中・年長〕
- ・ クッキング(年中)…19日
- ・ お誕生日会…21日
- ・ 英語教室…25日〔年少・年中〕28日〔年長〕
- ・ リトミック…26日



♪今月の歌♪

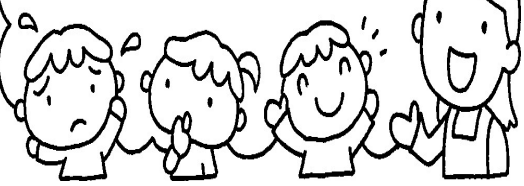
- ◇こいのぼり
- ◆おかあさん
- ◇手のひらを太陽に

5月のイヤイヤ期!?

4月からの環境の変化などにより、疲れが溜まり、眠れない、起きられない、食欲がない、イライラする、無気力などの症状が見られることがあります。

～5月イヤイヤ期の脱出方法～

- ・ お風呂に浸かり、心身の疲れを取る
- ・ たくさん身体を動かして元気よく遊ぶ
- ・ 早寝早起き、睡眠時間の確保
- ・ 3食しっかり食べる



さくら組だより



新年度が始まり、少しずつ新しい環境に慣れてきた今日この頃。日々の生活の中で子どもたちのかわいい笑顔がたくさん見られるようになりました。入園式では、ドキドキした表情を浮かべながらも、ひまわり組・ゆり組のお兄さんお姉さんの前で名前を呼ばれると、元気いっぱい声で「はい！」と返事をする事ができました！登園後は、自分でタオルや食具をカゴに入れたり、スモックを着たりと朝からやる事がたくさんあります…一か月が経つ頃には、「ここに入れるんよね～」としっかりと準備ができるようになり成長を感じています。課外教室・製作などの活動にも興味をもち、保育士の話をしっかりと聞きながら楽しく参加しています。戸外遊びでは、お友だちと一緒に砂遊びやかくれんぼをして汗をしっかりとかきながら元気いっぱい遊ぶ姿が見られます。少しずつ、お友だちとの関係も築きながら、そして気持ちを共有しながら日々過ごす姿も見られるようになってきました。これからも、お友だちの姿に刺激を受けながら、様々なことに挑戦し成長していく姿を見守っていききたいと思います。



ひまわり組だより



3月までは一番小さかった学年でしたが進級したことで、お兄さん・お姉さんになったという意識が芽生えてきたひまわり組さん。新入園児さんに「大丈夫だよ～!」「この玩具はここに片づけるんだよ!」と優しく声かけて関わる姿も見られるようになってきました。そして、自分の身の回りの事にも意欲的に取り組み、自分で頑張る!やってみる!と頑張ることもできるようになってきています。先日の製作活動では自画像や自由画を描きました。クレパスを使い、思い思いに表現するを楽しんでいます。また、はさみを使って紙コップロケットや折り紙プロペラなどの工作も行いました。完成後には作品でお友だちと一緒に遊ぶ姿も見られ、楽しさが広がっています。今後も子どもたちのやりたい事や作ってみたい物を取り入れながら活動に取り組んで行きたいと思っています。作品をお家に持って帰った際には、子ども達それぞれのこだわりポイントや頑張った箇所、難しかった事などお話ししてくれると思いますので、「どうやって作ったの～?」と話を聞いてみてくださいね♪



ゆり組だより



4月は一番上の学年になった事が嬉しい気持ちとちょっぴり緊張した気持ちが入り混じった様子でしたが、少しずつゆり組での活動リズムにも慣れてきました。初めての書道教室や、絵の具、鍵盤ハーモニカなど、ゆり組さんだけの活動もとても楽しみにしてくれていました。書道教室では、正しい鉛筆の持ち方や机と椅子に向かう姿勢の取り方を教えていただき、就学前の準備でもあります!まだ最初なのでプリントやノートに直線や曲線を書いたりひらがなを書く前の段階から練習していますが、3月には自分の名前が書けるようになることを目標としています。クッキングでは旬の食材を使って、たけのこのかきあげを作りました。初めて見て触る大きな筍に、「毛が生えてチクチクしてる!」「大きな三角みたい!」と興味津々でした。皮を剥いて、包丁も使い工程が盛りだくさんなクッキングでしたが、最後まで話をよく聞いてしっかり取り組むことができました。完成したサクサクのかき揚げは給食で提供され、みんなパクパクと食べてあっという間に完食でした!新しい活動が始まり、覚える事もたくさんありますが、子ども達一人ひとりの発見や考えを大切に、日々を一緒に楽しんでいきたいと思っています♪



給食だより

～豊かな味覚形成は乳幼児期から～



普段食事をする中で様々な味を感じています。これが味覚です。味覚には、甘味、塩味、うま味、苦味、酸味があります。甘味や塩味やうま味は、生きていくために体に欠かせないものとされ、本能的に好まれる味とされています。それに対して苦味や酸味は腐敗や毒の存在を教える役割があり、本能的に嫌う味とされています。そのため、子どもは野菜の苦みや果物などの酸味が苦手になりやすいです。苦味や酸味は、繰り返し食べていくうちにその味を受け入れられるようになっていきます。子どもが食べないからといって食卓に出さないのではなく、まだ食べられるようになっていないのだととらえ、少しでも口にしたら褒める、家族がおいしそうに食べる姿を見せるなどして食べてみようという意欲を引き出しましょう。何度も食卓に登場させることで、見慣れたもの、食べ慣れたものに安心感を覚え苦手なものが少なくなっていきます。市販のスナック菓子やチョコレートは塩分や砂糖がたくさん含まれています。また、加工食品やインスタント食品は濃い味付けになっています。幼い頃からこの味に慣れてしまうと、食材の味がわからなくなるばかりか、薄味のものを受け入れることが難しくなります。知らず知らずのうちに塩分や砂糖のとりすぎで、生活習慣病のリスクも高まります。そうならないためにも、味覚が形成される乳幼児期に、薄味を基本に食材本来の味をたくさん経験させて子どもの味覚を発達させましょう。保育園の給食でも様々な味を経験することで豊かな味覚が育ってほしいと思っています。